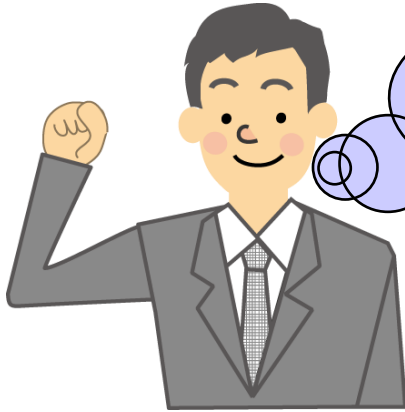


# 内定者頑張ってます！！

12月内定者研修より



自分を今たとえると 何もばー一本の木の幹です。しかしこの研修で学んだことを自分の引き出しとして増やし、その木の幹に 1本ずつ枝をとりつけていき、1本1本に花をさかせることが出来ればばと思ひます。

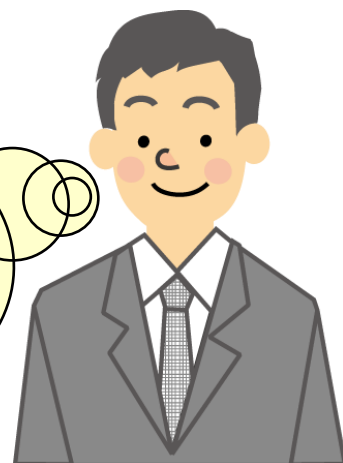
子どもが出来ないことと子どものせいにするのは良くないことと聞き、その通りだと感じました。自分の指導力が至らないうから、子どもが出来ないことあり、自分の指導に責任と持たなければならぬということも深く感じました。



又、集団行動リーダーに自分から手を上げました。自分でも驚きです。何をやるのか分からぬ状況でも自分から積極的に行動する事で、声も大きく出せし、相手に想いを伝えようと思ひました。自分が笑顔でやる事で、相手も笑顔になつてくれたり、一緒に頑張ろうとしてくれた事が今日一番の喜びです。

その他にも 他人に言われてやらされるのは「仕事」ではなく「作業」だ という事でそんな事考えた事もなかった私はとても勉強になりました。

社長自ら 熱い話をして下さり 上りいこうこの会社で  
おと働いていたいと思えました。



また、今日の集団行動では、仲間と心と力を合わせる大切さを実感しました。仲間の頑張っている姿は本当に自分の力になり、言葉を掛け合うことで励まし合え、仲間の大切さを感じました。



今日一日を終えて、私は社長の「失敗したとき、壁にぶつかった時、そこに解決する答えがある。それを知つたためには努力が足りない」という言葉が一番印象に残っています。失敗することはありけれど、それを乗り越えるために努力すれば必ず答えは見つかるということからただだけでなく、一歩踏み出す機会を出しやすくなると思えました。

